

令和4年2月定例教育委員会 会議録

- | | | | | | |
|---|------|--|--|---|--|
| 1 | 日 時 | 令和4年2月24日(木) | 開 会 | 午前 | 9時30分 |
| | | | 閉 会 | 午前 | 11時00分 |
| 2 | 会 場 | 茅野市役所 8階大ホール | | | |
| 3 | 出席委員 | 教育長
教育委員
教育委員 | 山田 利幸
永嶋 陽子
若御子雅英 | 同職務代理者
教育委員 | 矢島 喜久雄
勅使川原はすみ |
| | 出席者 | こども部長
こども課長
学校教育課長
文化財課長
こども係長
生涯学習係長 | 有賀 淳一
五味留美子
五味 正
五味 健志
宮下 孝
河西 茂廣 | 生涯学習部長
幼児教育課長
生涯学習課長
スポーツ健康課長
教育総務係長
教育総務係主事 | 北沢 政英
柳澤 澄子
田中ひろみ
伊藤 善彦
春日 雅彦
小池 智也 |
| 4 | 傍聴者 | 2名 | | | |

2月定例教育委員会次第

日時 令和4年2月24日（木）午前9時30分から

場所 市役所 8F大ホール

- 1 開 会
- 2 前回会議録の承認
- 3 報告事項
 - 第1号 教育長報告
 - 第2号 各課からの報告
 - (1) 学校教育課
 - (2) こども課
 - (3) 幼児教育課
 - (4) 生涯学習課
 - (5) 公民館
 - (6) 文化財課
 - (7) スポーツ健康課
 - 第3号 教育委員会共催後援
 - (1) 生涯学習課
 - (2) スポーツ健康課
- 4 議 案
 - (1) 市議会3月定例会一般質問について
 - (2) 市議会3月定例会に提出される予定の議案について
- 5 検討事項
今回はありません
- 6 その他
 - (1) 総合教育会議について
 - (2) 臨時教育委員会の開催について
 - (3) 茅野市子どもの生活状況調査・茅野市高校生の生活実態に関するアンケート調査について
 - (4) 茅野市子どもの居場所づくり推進事業補助金交付要綱の一部改正について
 - (5) 保育士等処遇改善臨時特例事業について
 - (6) 市議会第1回臨時会議決結果について
 - (7) その他

次回定例教育委員会日程について

	3月29日(火)	9時30分「8F大ホール」
(事務局会議	3月15日(火)	9時00分「602会議室」)

7 閉会

○教育長

2月定例会を始めます。
前回の会議録ですが、承認としてよろしいでしょうか。

○全員

異議なし。

○教育長

後ほど署名をお願いします。

報告事項1、新型コロナウイルス感染症第6波ということで、ほとんどの会合が中止になりました。表にあるものが主な活動です。

このような状況の中で各学校・保育園施設共に感染症の対応を本当に一生懸命、様々な工夫をして取り組んでいます。

特に中学3年生をどうやって守っていくかということは、中学校だけの問題ではなく、小学校等の兄弟関係まで含めて考えていかなければいけませんので大変ですが、入試までしっかりやっていきたいと思います。

報告第2号「各課からの報告」をお願いします。

○学校教育課長

報告第2号の1ページをご覧ください。学校教育課です。

3月16日水曜日、各小学校の卒業式です。

17日木曜日、各中学校の卒業式がありますので教育委員の出席をお願いします。

25日金曜日、新任校長辞令交付式・着任式の打ち合わせを午後1時30分から、7階705会議室で予定しています。

同日、25日金曜日の夕方4時から8階大ホールで、退職教職員、転任・昇任校長及び教頭送別式、永年勤続教職員表彰状・感謝状贈呈式を予定しています。教育委員の出席をお願いします。

29日火曜日9時30分から、8階大ホールで定例教育委員会を予定しています。

記載はありませんが、1月の定例教育委員会でご説明させていただいたプログラミング講座は、まん延防止等重点措置の延長がありましたので、残念ですが今年度は実施しません。

以上です。

○こども課長

2ページをご覧ください。こども課です。通常の行事の他に、17日木曜日にやまびこ園修了の会を開催します。今回は2班に分けて実施します。

○幼児教育課長

3ページをご覧ください。幼児教育課です。

園長会、調理員会のほか、12日土曜日に玉川どんぐり保育園、わかば保育園の卒園式、18日金曜日によこうち認定こども園、ちのせいぼ幼稚園卒園式、21日に野あそび保育ささはら卒園式、22日火曜日に公立保育園卒園式を予定しています。

教育委員の皆様には、来賓ご挨拶をお願いしていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染警戒レベルが下がる見通しがつきませんので、今回は来賓のごあいさつはいただきませんのでお願いします。

なお入園式については、机に置かせていただいた資料のとおり、来賓のご挨拶をいただく予定です。

以上です。

○生涯学習課長

4ページをご覧ください。生涯学習課です。

小泉山体験の森活動パネル展、多留姫文学自然の里文学祭のパネル展を1階ロビーにて3月11日まで開催の予定です。

2日は、人権教育研修会として、表に記載はありませんが、「高校生のリアル、最近の若者の人権感覚」と題した研修会を東海大学付属諏訪高校の佐藤先生をお呼びして、8階大ホールで開催予定です。こちらの研修会は、ライブ配信と3月30日までのアーカイブ配信を予定しています。

9日は社会教育委員の会議です。教育長のご出席をお願いします。

19日、「読り一むinちの20周年記念 富安陽子さん講演会」をマリオローヤル会館にて行います。市長、職務代理者のご出席をお願いしています。

5ページをご覧ください。家庭教育センターです。

14日に「レッツベビーダンス」を開催予定です。赤ちゃんとお母さんでのベビーダンスの講座で、今のところ実施予定ですが、コロナの感染状況を見て、今後検討していきます。

6ページをご覧ください。図書館です。

5日に予定していた「012おはなし会」、「おはなしわ〜んど」の2講座については中止としました。

9日以降については、コロナウイルスの感染状況を見て中止・開催を、判断していきます。

24日、「茅野高校図書委員さんによるわくわくおはなし会」も予定されていますが、こちらの様子を見ながら判断します。

7ページをご覧ください。公民館です。

いずれも現在の予定です。コロナウイルスの感染状況を見ながら判断していきます。

9日に「身近な法律講座」、10日に「公民館使用説明会」の予定です。

14日に「リラックスヨガ講座」、22日から子どもたちの多様な学び創造事業として、「はるやすみ子ども体験教室」の1回目「ストレッチ・陸上教室」、23日に2回目「似顔絵を描いて贈ろう」、25日に「土偶パンを作ろう」を予定しています。

28日に、第4回公民館運営審議会を予定しています。

机の上に、2月13日に開催を予定していた分館職員研修会の冊子を参考に置かせていただきました。こちらの研修会は、コロナの影響で中止としましたが、DVDを作成し、分主会などで研修していただくように、地区公民館等に配布します。

以上です。

○文化財課長

文化財課をお願いします。8ページをご覧ください。尖石縄文考古館です。

19日土曜日に、「尖石縄文検定初級」を開催します。定員40名の予定です。

21日月曜日と23日水曜日に、「茅野縄文遺産市民ガイド育成講座の解説実習」を行います。また、記載はありませんが、29日は尖石遺跡が、特別史跡に指定されて70年となります。令和4年度予算に70周年記念事業として、企画展やシンポジウム等を予定し、予算計上しています。史跡の国宝としての尖石遺跡をさらに発信していきたいと考えています。

続いて9ページ、八ヶ岳総合博物館、神長官守矢史料館をご覧ください。

「市民研究員養成講座」、「子ども科学工作クラブ」、「子ども自然研究クラブ」、そしてプラネタリウムが活動中、公開中になっていますが、6日までは活動等休止としています。

また、それ以降も感染状況により、休止、中止となる場合があります。

主な行事としては、19日から企画展「御柱祭」を5月29日まで、博物館と史料館で開催します。

また、はくぶつかん子ども教室を2月からの延期分も含め、3回予定しています。

最後にお知らせですが、2月26日土曜日に東京テレビの新・美の巨人たちで、茅野市出身の建築家藤森照信先生設計の「空飛ぶ泥船」が取り上げられます。その中で、女優の内田有紀さんが守矢史料館を含めて案内しますので、ぜひご覧ください。

以上です。

○スポーツ健康課

10ページスポーツ健康課をご覧ください。

26日の土曜日にゴルフ練習場がオープン予定となっています。

以上です。

○教育長

質問ご意見等ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

報告第3号「共催・後援」お願いします。

○生涯学習課長

1月8日から1月27受け付け分として、3件の後援申請がありました。要領に基づき審査し、承諾決定しました。

以上です。

○スポーツ健康課

スポーツ健康課です。1月21日から2月20日受け付け分で、サッカーの体験教室1件の申請があり、承諾決定としました。

以上です。

○教育長

意見質問ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

議案第1号「市議会3月定例会一般質問について」お願いします。

○こども部長

議案第1号をご覧ください。令和4年3月の定例会が開会しました。一般質問の通告についてご説明しますのでご意見等ありましたらお願いします。

今回、16名の議員より全部で25件の質問をいただいています。そのうち、教育委員会に関係するものについては、5名の議員から6件の質問をいただいていますのでご説明します。

発言順序6番、両角実晃議員から件番9番「子どもの支援について」ということで、小項目として2点質問をいただいています。1点目が「学校における支援員の体制について」、2点目が「夢のあるひとそだちに向けた取り組みについて」です。

裏面をご覧ください。発言順序10番、伊藤玲子議員から件番15番「子どもの貧困対策の推進」について、小項目として4点質問をいただいています。1点目は「茅野市の貧困と思われる子どもの人数の状況の把握、認識について」、2点目が「子どもの貧困の未来に及ぼす影響について」、3点目が「支援の1つである子ども食堂居場所活動について」、4点目が「子どもの貧困対策についての計画の作成について」です。

続いて発言順序14番、木村かほり議員から件番21番「コロナ禍での子ども支援の取り組みについて」として小項目として4点質問をいただいています。1点目が「子どもの居場所づくりの取り組みについて」、2点目が「子育て中の家庭への支援について」、3点目が「不登校の子どもへの支援について」、4点目が「いじめに対する対応について」です。

○生涯学習部長

生涯学習部からお願いします。同じく木村かほり議員から件番22番「LGBTQの方々への理解を深める取り組みについて」小項目として3点質問をいただいています。1点目が「性的少数者への理解を深める取り組みについて」、2点目が「担当する部署について」、3点目が「同性・パートナーシップ制度への取り組みへの可能性について」です。

多様な性についてのご質問ですが、主に人権教育等の関係性から答弁を予定しています。

○こども部長

続いて発言順序15番、松山孝志議員から件番23番「小中学校における教育に関わる課題について」小項目として8点質問をいただいています。1点目は「これまでの6・3制に代わる義務教育学校について」、2点目が「小学校におけるICT教育のねらいと使用上の諸問題について」、3点目が「伝統文化教育、環境教育や情報活用教育等への授業時間の配分について」、4点目が「小学生の知力を育むための体力の向上について」、5点目が「1学年1クラスとなるような少子化の中における教育について」、6点目が「少子化の中でともに歩む外国籍の子どもの就学について」、7点目が「ヤングケアラーについて学校が支援できることは」、8点目が「コロナ禍での学びに対する影響はどのようであったか」です。

○生涯学習部長

発言順序16番、望月克治議員から件番24番「中央公民館等の公共施設の役割と施設整備について」小項目として2点質問をいただいています。1点目が「コロナ禍で使用人数制限等がかり、以前と違う状況で利用することになっていますが、自治の学びと実践の起点となる公民館活動や、地域の歴史などを学び、知識を深めるための支援策は進んでいますか」、2点目が「災害時の避難所として、冬季や夏季の避難に対応できる施設となっていますか」です。

通告内容は以上です。

○教育長
質問ご意見ありますか。

○全委員
なし。

○教育長
議案第2号「市議会3月定例会に提出される予定の議案について」をお願いします。

○こども部長
3月定例会に提出される予定の議案について、議案第2号の資料をご覧ください。令和4年茅野市議会3月定例会に付議されました案件は、専決案件2件、条例案件8件、予算案件10件、その他案件1件、報告1件です。このうち、教育委員会に関係するものとしては、専決案件が1件、条例案件が3件、予算案件が2件、報告案件1件です。

順を追ってご説明し、案件ごとにご質問があればお受けします。

議案第4号をご覧ください。令和3年度茅野市一般会計補正予算第15号の専決処分の承認を求めることについてです。地方自治法の規定により、別紙の通り専決処分したもので、これを報告し、承認をお願いするものです。

次のページをご覧ください。専決第1号専決処分書です。令和4年1月7日に専決処分したものです。

次のページをご覧ください。専決処分をした理由を記載しています。

5ページをご覧ください。第1条、歳入歳出予算の補正で、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,031,357千円を追加し、歳入歳出それぞれ31,679,126千円とするものです。

教育委員会に関係するものについてご説明します。

歳出について12ページをご覧ください。2款1目事業14「子育て世帯臨時特別給付金支給事業費」で423,657千円の補正増です。新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、18歳以下の子どもがいる子育て世帯の生活を支援するため、子育て世帯臨時特別給付金の追加給付に要する経費を補正増するものです。

給付金の支給事務に係る経費として、職員の超過勤務手当等の職員手当費及び、需用費や郵送に係る通信運搬費等の事業経費のほか、給付対象者8150人に対し1人当たり5万円を給付する補助費として、422,500千円を予算計上するものです。

特定財源として国の「子育て世帯臨時特別給付金事業費補助金」及び事務費補助金を全額充当するものです。

次に歳入です。9ページをご覧ください。

15款、国庫支出金で、1,031,357千円の補正増をお願いするものです。

以上が議案第4号です。

質問ご意見ありますか。

○全委員
なし。

○生涯学習部長

議案第9号をご覧ください。条例提案は都市建設部ですが、生涯学習部に関連がありますのでご説明します。

茅野市民館条例及び茅野市営駐車場条例の一部を改正する条例についてです。裏面に提案理由を記載しています。

3ページから改正条文になりますが、5ページから8ページに、新旧対照表を掲げていますので、ご覧ください。網掛けの部分が改正箇所です。

この議案は、現在茅野市民館第1駐車場、第3駐車場として使用している駐車場を茅野市営駐車場として設置するものです。

第1駐車場は、市民館中庭に隣接する有料駐車場、第3駐車場は、第1駐車場の道向かいにある、有料駐車場となっています。

茅野市は、ベルビア地下駐車場や青空駐車場など茅野駅周辺駐車場管理について、スケールメリットを生かし、警備管理業務委託料の縮減が見込まれることから、市民館駐車場を含めた駐車場の管理一元化を図るものです。

4ページをご覧ください。改正本文末尾に付則として、施行日を掲げていますのでご覧ください。

この条例は、茅野市民館指定管理者が、来年指定管理制度の更新を控えている関係から、指定管理が更新される令和5年4月1日を施行日として、条例改正をするものです。

何かご質問ありますか。

○全委員

なし。

○こども部長

続いて、議案第11号です。

茅野市奨学金に関する条例の一部を改正する条例についてです。茅野市奨学金に関する条例の一部を改正する条例を別紙の通り定めるものです。

次のページをご覧ください。提案理由としては、現在実施している奨学金制度の償還の免除要件の拡充を行い、育英事業の充実を図るため、本条例を提案するものです。

奨学金の支給及び貸与については、毎年度募集をかけていますが、償還が必要である貸与については、平成26年度以降申し込みがない状況です。このような状況の中、育英資金を有効活用し茅野市の発展のために人材確保及び人口社会増を図ることを目的として、高等学校または大学等の卒業後、茅野市内に居住し、就職または自営業等に従事もしくは開業した場合に、貸与奨学金の償還を全額免除する制度を創設するものです。

改正条例の本文ですが、資料として新旧対照表を添付していますので、これに基づいてご説明します。

4ページをご覧ください。第1条及び第2条は言い回しを適正にするための改正です。

第13条は、第1項に第2号として償還の免除について新たに規定するものです。

資料の5ページをご覧ください。同項の第2項ですが、これらの新設の要件として償還免除されたものが要求を満たさなくなった場合について規定を加えるものです。

同項第3項については、その他特別な事由があると認めるときの免除の規定です。

改正条本文、3ページに戻っていただき、附則についてご説明します。第1項は施行期日です。この条例は令和4年4月1日から施行する旨の規定です。

第2項は経過措置です。

以上が議案第11号です。
ご質問ご意見等ありますか。

○全委員
なし。

○こども部長
続いて議案第12号をご覧ください。

議案第12号は、茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び茅野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例についてです。

茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び茅野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を別紙の通り定めるものです。

次のページをご覧ください。提案理由ですが、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども子育て支援施設等の運営に関する基準及び、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部が改正されたことに伴い、関係規定を整備するため本条例を提案するものです。

令和3年8月2日に施行された特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども子育て施設等の運営に関する基準等の一部を改正する内閣府令及び令和3年7月1日に施行された家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準において、デジタル化の推進に伴い、保育所等の事業者等が作成、保存等を行うものや、保育所等と保護者との間の手続き等に関するもので、書面等によることが規定、または想定されているものについて、電磁的手法による対応の可能であるものの包括的な規定を追加する改正が行われました。

この改正は、基本的に電磁的手法の適用の範囲が広がったことであり、電磁的手法や方法については、従前と同様です。

また、これらの内閣府令及び厚生労働省令は、市町村の条例を定めるにあたって従うべき基準及び参酌すべき基準を定めたものであり、今回の条例改正はともに参酌すべき基準である条項の内容が改正されたため、一部改正については参酌し、改正を行うものです。

改正条例本文ですが、第1条が、茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正に関する規定です。

第2条は、茅野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正に関する規定です。

資料の6ページをご覧ください。新旧対照表でご説明します。

第1条が、茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部改正関係です。

目次の第4章ですが、こちらは、第53条を第54条とし、新たに53条を加えることに伴う改正です。

第5条の第2項から第6項までですが、こちらは、他の手続き等と合わせて53条として新設したことに伴い削るものです。

資料の8ページをご覧ください。第38条第2項も先ほどの第5条と同様に、他の手続きとあわせ、53条として新設したことに伴い削るものです。

第42条は適用の範囲を内閣府令が改正されたことに伴い改正するものです。

第53条ですが、改正前の53条第2項から同6項まで及び第38条第2項で規定していた電磁的手法について、今までのものについては重要事項の説明に限っていましたが、今後は特定教育・保育施設等が作成保存を行うものや、保護者との間の手続き等で、書面等によることとされているものについて、包括的に電磁的記録電磁的手法による対応を可能とした上で追加するものです。

なお、それぞれの記録手法については、従前の第5条第2項から第6項まで及び第38条第2項で規定していたものと変更点はありません。

11ページをご覧ください。第53条ですが、先ほどご説明した53条として新たに加えることに伴って改正前の第53条を54条に繰り下げるものです。

続いて第2条、茅野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正です。

資料の12ページをご覧ください。第8条及び第3項についても、厚生労働省令が改正されたことに伴い、文言について条項の範囲の改正がありましたので、それに伴う改正です。

同条第5項は適正な文言に訂正するものです。

資料13ページをご覧ください。第51条ですが、家庭的保育事業者等及びその職員が記録作成保存を行うもののうち、書面により行うこととされているものについては電磁的記録により行うことができる旨を定めるものです。

52条は新しく51条を追加することに伴い、改正前の第51条を52条に繰り下げるものです。

改正条例本文にお戻りください。5ページです。付則としてこの条例は公布の日から施行するものです。以上が議案第12号です。

ご質問ご意見等ありますか。

○勅使川原委員

事業のデジタル化の内容については、説明いただいたのでわかりましたが、特定教育・保育施設及び特定保育事業というのは、茅野市の保育施設の中でどこが当てはまるのか、また、どの事業が当てはまるのか具体的に説明をいただきたいです。

○こども部長

特定教育保育施設は、民間の認定子ども園、保育所、幼稚園等の施設が当てはまります。

○幼児教育課長

地域型保育事業は、現在茅野市で該当施設はありません。事業所内で保育をやっている施設はありますが、地域型保育事業の規定に該当するものではありません。

○こども部長

市の施設については、その施設については、地方自治体全体を包括する法律がありますので、そちらで対応します。今回の議案は、そこから漏れている民間の施設について改正を行うものです。

その他意見質問はありますか。

○こども部長

続いて、議案第15号茅野市一般会計補正予算第17号についてです。

予算書の1ページをご覧ください。第1条歳入歳出予算の補正で、歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ244,196千円を追加し、歳入歳出それぞれ32,029.272千円とするものです。

初めに歳出についてご説明します。教育委員会に関係するものについてご説明をしますので、12ページをご覧ください。予算減に関わるものはすべて不用額を減額したものですので、説明を省略します。

2項2目事業2の保育所運営費で19,300千円の減です。

次に、同項同目事業8の私立保育園等支援事業費17,600千円の減です。

13ページをご覧ください。同項3目事業2児童扶養手当給付事業費で12,000千円の減です。

15ページをご覧ください。10款教育費で、49,495千円の補正減です。

2項1目事業4、小学校施設整備費で35,255千円の増です。こちらは、国の令和3年度一次補正予算に計上された学校施設環境改善交付金事業を活用し、玉川小学校の校舎及び体育館の照明設備でLED化工事を実現するため、関係経費を予算計上するものです。

特定財源として、国の学校施設環境改善交付金11,751千円及び、学校教育施設等整備事業債23,500千円を充当するものです。

次に、同項2目事業1小学校教育事務費で10,800千円の増です。国の令和3年度一次補正予算に計上された学校における感染症対策等支援事業を活用して、小学校における感染症対策を実施するための消耗品費及び備品購入費を予算計上するものです。

特定財源として、国の小学校保健特別対策事業費補助金5,400千円を充当するものです。

次に、同項3目事業1永明小中学校建設事業費で100,500千円の減です。

次に、3項2目事業1、中学校教育事務費で4,950千円の増です。補正内容については、小学校費と同様です。

8ページをご覧ください。

歳入ですが、11款地方交付税で937,076千円の増です。

13款分担金及び負担金が10,100千円の減です。

15款国庫支出金が61,680千円の減です。

次のページをご覧ください。16款県支出金が1,800千円の減です。

10ページをご覧ください。19款繰入金は、当初予算に計上していた財政調整基金繰入400,000千円を全額補正減するものです。

21款諸収入は7,000千円の減で、22款市債が212,300千円の減です。

歳入については以上です。

4ページをご覧ください。

第2表繰越明許費補正です。追加が26事業で、合計2,526,374千円の繰り越しをお願いするものです。

教育委員会に関係するものについてご説明します。

上から5行目、子育て世帯臨時特別給付金支給事業費は、臨時特別給付金支給事業について、国の第一次補正予算を受け、補正予算で第13号及び第15号で予算計上しましたが、年度内に事業が完成しないため。

次に、10款の教育費ですが、小学校施設整備費は、小学校照明設備LED化工事について、国の第一次補正予算を受け、3月補正で予算計上しましたが年度内に事業が完了しないため。

小学校教育事務費は、感染症対策に係る小学校保健特別対策事業について、国の第一次補正予算を受け、3月補正で予算計上しましたが、年度内に事業が完了しないため。

永明小中学校建設事業費は、永明小中学校建設事業について、事業費の支払いが翌年度となること、また関係者との交渉に不測の日数を要し、年度内に事業が完了しないため。

中学校教育事務費は、感染症対策に係る中学校保健特別対策事業について、国の第一次補正予算を受け、3月補正で予算計上しましたが、年度内に事業が完了しないため。

市民館費は、舞台機構の設備更新工事において、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う半導体や樹脂等の不足により年度内に、事業が完了できないため。それぞれ繰越明許をお願いするものです。

5ページをご覧ください。第3表地方債補正で、教育委員会に関係するものとしては、追加1件変更1件です。

追加として、小学校設備事業に関する地方債で限度額を23,500千円とするものです。

変更として、永明小中学校薬建設事業で840,100千円から756,500千円に減額するものです。

以上が議案第15号です。

質問意見等ありますか。

○全委員

なし。

○こども部長

次に、議案第16号茅野市一般会計予算です。予算書をお手元にお配りしていますので、こちらのご説明を省略します。

最後に、報告第1号専決処分の報告についてです。

専決処分の報告をご覧ください。両面になっていますが専決処分としては5件で、このうち教育委員会に関係するものは2件です。地方自治法の規定により、議会において指定された事項について次の通り専決処分したので報告するものです。

番号1、2ともに同じ事件での専決処分です。専決処分の年月日は、1番が令和3年12月8日、2番が令和3年12月10日です。

損害賠償額は1番が842,496円、2番が821,799円です。内容については同一ですので合わせてご説明します。

令和3年10月5日午前11時頃、湖東小学校敷地内の駐車場において草刈作業中の草刈り機により跳ねた石が、駐車中の相手方車両に当たり、車両に損害を与えたものです。

こちらは市の負担割合は100%です。なおこちらの件については、12月議会で報告した案件1件と含め、この3台ですべて完了となります。

報告第1号については以上です。

ご質問ご意見等ありましたらお願いします。

○教育長

議案関係全体で、質問ご意見あったらお願いします。

○全委員

なし。

○教育長

それでは、承認ということでその他1「総合教育会議について」お願いします。

○学校教育課長

資料はありません。先月の定例教育委員会でお諮りをしましたが、今年度第2回目の総合教育会議について、まん延防止等重点措置の期間が延長され3月6日までなっていることに加え、3月6日以降、小中学校の卒業式や年度末の行事等が控えていますので、今年度に関しては、第2回の総合教育会議を実施しませんのでご承知おきください。

以上です。

○教育長

意見、質問等ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

次回の開催は、内容をより充実させていきます。

その他2「臨時教育委員会の開催について」お願いします。

○学校教育課長

こちらも資料はありません。

臨時の教育委員会を3月1日午後4時から行いますのでご出席をお願いします。

以上です。

○教育長

短時間で終了しますので、ご予約をお願いします。

その他3「茅野市子どもの生活状況調査・茅野市高校生の生活実態に関するアンケート調査について」お願いします。

○こども課長

資料3に沿ってご説明します。

令和3年度茅野市子どもの生活状況調査・茅野市高校生の生活実態に関するアンケート調査についてのご報告です。

子どもの生活実態状況調査については、内閣府が策定した子どもの貧困実態調査に関する研究報告書及び厚生労働省が実施したヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書に準拠した内容で調査を行いました。

対象者については小学校5年生、中学校2年生及びその保護者とし、ヤングケアラーに関する調査は中学2年生のみとしました。

高校生の生活自体に関するアンケート調査については、厚生労働省が実施したヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書に準拠した内容で行っています。対象者は高校2年生です。

本報告書については、両調査を整理し次の通りまとめていますので、一覧表をご覧ください。

1ページをご覧ください。子どもの生活状況調査の概要報告書です。調査の背景目的については、貧困対策の推進に関する法律を踏まえた調査ということで、子どもとその保護者の生活状況の把握と、貧困対策の推進計画の基礎資料とすることを目的としています。

回収状況ですが、回収率については全体で児童生徒が93.9%、保護者は90.3%ということで、参考に国の回収率と比較して、高い状況となっています。

調査の方法については、学校を通じて実施しました。

調査期間は、令和3年7月9日から令和3年7月16日までです。

調査の項目については冒頭でご説明しましたが、茅野市の実態に合わせて、内容の修正追加削除を行いました。

3ページご覧ください。調査項目の分類については、子どもの将来の成功・不利に関連する事項、支援の利用に関する事項、家庭も経済・生活状況、基本属性という4分類にしました。

その中の調査項目を、黄色の網掛け部分で内容を記載していますのでご覧ください。

クロス集計の調査項目は、子どもの生活状況や家庭の経済状況について分析することを目的として、等価世帯所得別と世帯の状況別にクロス集計を行いました。まず、等価世帯所得別については、家族の人数に関する設問と世帯の年間収入に関する説明に対する回答に基づき、家族人数による差を調整するために、当該世帯の収入を同居している家族の人数で除した額を算出しました。それを高い順に並べ、その中央値を算出しています。中央値が274.2万円となっています。この2分の1の金額137.1万円未満の世帯を、中央値2分の1未満世帯、それ以上の世帯を中央値2分の1以上世帯と区分しました。

参考として、国の2分の1未満世帯は、158.77万円となっています。

4ページをご覧ください。等価所得別の割合ですが、茅野市では約1割が中央値2分の1未満世帯となっています。国は12.9%となっています。保護者と児童生徒の%が合わない状況ですが、どちらか一方だけが該当している場合がありますので、数値が異なっています。

5ページの世帯の状況別については、親の婚姻状況の設問について、「離婚」「死別」「離婚」と回答した世帯を「ひとり親世帯」と区分し、「結婚している」と回答した世帯を2人親世帯と区分をしています。

世帯状況の割合については、約11%強が該当になっています。国も12.5%と低い状況になっています。

6ページの結果の概要をご覧ください。

全体的には、世帯の収入の水準や親の婚姻状況によって、子どもの学習・生活・心理など様々な面に影響を受けていたことがわかります。

保護者の項目ですが、「食材等が買えなかった」「衣服が買えなかった」という経験については、中央値2分の1以上世帯は、ふたり親世帯と比べて、割合が高いという状況です。

資料は11、12ページですが、2分の1未満世帯については、「食材が買えなかった経験」が45.9%。衣服が買えなかった経験」は55.2%の方が経験し、ひとり親世帯については、「食材が買えなかった経験」は30.8%「衣服が買えなかった経験」は40.7%の方が経験しています。

次に、子育てに関する相談等を「頼れる人がいないと」回答した方は、両者とも割合が高い状況となっています。資料14.15ページに、詳細がありますのでご覧ください。

想定する進学先について、大学、またはそれ以上と回答した方は、両者とも比較的割合が低い状況になっています。中央値2分の1未満世帯は大学またはそれ以上と回答した人が18.8%、ひとり親世帯については27.7%となっています。2分の1以上世帯では、約半数の回答となっています。

次に心理的な状況として、うつ・不安障害が疑われるものにある者については、両者とも比較して割合が高い状況となっています。資料は17ページです。

次に「就学援助」「生活保護」「生活困窮者の自立支援相談窓口」「児童扶養手当」「育ちあいの」等の利用については、両者とも比較的割合が高い状況になっていますが、ひとり親世帯については、「育ちあいの」の割合が低いという状況になっています。

このような状況から見て「育ちあいの」については、世帯にかかわらず利用されているということがわかります。

7ページの児童生徒の項目抜粋についてですが、「クラス内での学習成績」について、下の方と回答した割合は、両者とも高い状況になっています。資料は22ページですのでご覧ください。

「学校の授業の理解度」についてですが、「いつもわかる」「大体わかる」と回答した人は、比較して割合が低くなっています。

「学校以外での勉強時間」を「全くしない」との回答は、割合が高くなっていますが、全体では、宿題を「やっていない」方は2割程度で、ひとり親世帯については5～6%の割合で、全くしないという回答になっています。

「希望する進学先」については、約2割のお子さんが、大学またはそれ以上と回答していますが、それ以外の世帯と比べると割合が低い状況です。

「朝食」「夕食」「夏休み冬休みなどの期間の昼食」については、毎日食べるという回答が多くを占めています。朝食70%以上食べているという回答が9割程度ですが、割合としては、低い状況になっています。

「情緒の問題」「仲間関係の問題」「向社会性」について、情緒の問題については、お腹が痛くなる、心配事が多い、落ち込む、という設問です。

仲間関係は、1人でいることや、同い年の人から好かれているか、という設問です。

向社会性については、他人に親切にする、人を助ける、年下にやさしくするというような内容で質問しています。この設問については、ほぼ差がない状況です。

「相談できると思う相手」について、誰にも相談できない、したくないという回答については、両者ともに高い回答率になっていますが、どちらも約6割が、親や友達に相談できるという回答をしています。17%弱が相談できない、したくないと回答しています。

「逆境体験の経験」ですが、資料33ページをご覧ください。一緒に住んでいる人から、悪口を言われたり、けなされたり、体を傷つけられた経験があるかという設問に対して、あてはまらないと回答した人は46.3%、その他の世帯では73.2%でした。ひとり親は当てはまらないと回答した人は32%。ふたり親世帯では76.1%ということで、どちらも比較して割合が高い状況となっています。

支援を利用した効果については、気軽に話せる大人が増えた、生活の中で楽しいことが増えた、と回答しています。この支援を利用したという項目の支援の内容については、7ページの下段に内容を記載していますのでご覧ください。

8ページをご覧ください。あれば利用したい場所については、自由記載として資料36ページに細かく載っていますが、主な内容としては、勉強ができる、教えてくれる場所、子ども食堂等の居場所についての回答が多くありました。

続いて37ページ、ヤングケアラーの実態に関する概要報告書をご説明します。

ヤングケアラーは、法律上の定義はありませんが、一般的に、「本来大人が担うとされているような家事や家族の世話などを日常的に行っているような子どもとされており、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子どものことを示しています。

今回の生活状況調査と、高校生の生活実態に関するアンケート調査には、下記の一般社団法人日本ケアラー連盟が出版したイメージ図を添付しながら、設問を行いました。

38ページからが調査の概要となります。背景については、厚生労働省からのヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書を受けた市の独自の実態調査となります。

目的は、ヤングケアラーと思われる子どもの実態と認知度の把握、また今後の施策検討のための基礎資料とすることを目的としています。

調査の対象は中学2年生と高校2年生です。

回答率は中学生が90.1%で、高校生は23.8%です。高校生の調査の方法は、市内に住民登録のある高校2年生の年齢層全員を対象として、通知文と先ほどのイメージ図を発送し、ウェブによる調査回答をお願いしました。

高校生の調査期間は、令和3年8月1日から令和3年8月31日までの期間です。

調査の項目について、中学生については、国の貧困実態調査の項目を主に実施したため、設問しない項目もあります。

40ページの結果の概要になりますが、全体では、世話をしている家族の有無で比較分析を行いました。結果、約1割未満の生徒が家族の世話をしている状態でした。

世話をしている生徒の多くは、世話が常態化している実態で、やりたいことができない、世話のきつさや負担感を感じていない生徒が半数以上でしたが、一定数は時間的な余裕もなく、負担感を抱えている状況も把握することができました。

ヤングケアラーに対する認知度については、中学生6.5%、高校生14.6%と低い状況でした。

今後、周知活動等、認知度を上げていく必要があると考えています。

項目の抜粋ですが、まず、世話をしている家族がいると回答した人は、高校生が6.9%、130人中9人、小学生が8.6%、417人中36人が回答しています。

その中で世帯の状況になりますが、ひとり親かそうでないかを分析したところ、ひとり親世代が低い数値となっており、家族構成との関連性は無いと思われます。

世話をする家族の内訳については、高校生では兄弟、中学生では父母のお世話をしている人が最も高い状況となっています。

世話の内容は、家事や外出の付き添いが多くありました。

頻度は、ほぼ毎日が最も高く、週3日から5日と高い頻度で世話をしている状況になっています。

世話に費やす時間は、1ヶ月の中で、設問の例は1ヶ月の中で一番長い時間が何時間だったかという設問になっていますが、その中では3時間未満が多くあり、中には長時間費やしているとの回答もありました。

やりたいことがあるができないことの有無については「特になし」との回答が多く、時間的余裕がないために制限されているという回答も若干ありました。

世話を行うきつさについては、中学生には設問していません。受けとめ方に個人差があると思われますが、負担感を感じていないとの回答が多くありました。

相談相手については、家族以外には友人、先生と身近な人になっています。

高校生については医療従事者にも相談ができているという状況です。

3割近くの方が、相談したことがないと回答していますが、誰かに相談するほどの悩みではないという回答が高校生に見られています。

学校や大人に助けて欲しいことについては、高校生での将来の不安を抱えていることが伺え、中学生の中には、話を聞いて欲しいと思っている回答もあります。

先ほどの認知度の低さもありますが、話を聞く視点を持って対応できればと思います。

報告は以上です。

○教育長

大変濃い内容でしたが、質問ご意見ありますか。

○全員

なし。

○教育長

それぞれの機会でお話をしていただけたらと思います。

その他4「茅野市子どもの居場所づくり推進事業補助金交付要綱の一部改正について」お願いします。

○子ども課長

その他4の資料をご覧ください。

こちらの補助金ですが、子どもの健やかな成長を支援することを目的として、食事提供、学習支援、生活相談等を通じて子どもの居場所づくりを推進する事業を実施する団体に補助金の交付をすることについて、必要な事項を定めた要綱となっています。

まず、一部改正ということで、改正内容をご説明します。第3条第1項5号「市内の同一の別施設ついて」を、「市内の施設」に改め、同じ施設だけでなく、様々な施設で利用できるようにするために、「市内の施設」と改正します。

「1月当たり」を、「1年を通じて1月当たり」とし、年間を通じて実施できるよう改正します。

6号の「公共施設において実施される事業」の項目は今回削除しました。

第3条2項2号の「その他公共団体から補助対象事業について同様の趣旨～」という部分を、「その他民間団体等からこの告示の規定による補助金と」として、子どもの未来応援基金については、交付だけでなく民間への補助がありえる場合もあるので、原資が同じものについては、補助対象としないとした改正です。

続いて、別表の対象経費についてです。限度額については、25万円から125万円に変更しています。

対象となる経費については国の定める「地域子ども未来応援交付金交付要綱」に規定する「繋がりづくり緊急事業支援事業」の実施に要する経費の補助率の限度額が125万円となっていますので、同様の額に修正をしたものです。

備品については、対象経費から削除し、旅費を追加しました。

賄材料費については、10分の10補助しますが、実費徴収した場合については、徴収金額を差し引いた額として改めています。

施設使用料や光熱水費についても、補助率を10分の10へ改正しています。

謝礼については、1時間当たり1000円を限度とします。ただし、学習及び相談支援を行うものについては、1時間当たり2000円を限度と改正しました。

その他様式については、申請していただく様式の中を対象経費に合わせた改正となります。

附則をご覧ください。この告示は、令和4年4月1日からの施行として、2月7日に告示となっています。

説明は以上です。

○教育長

質問ご意見ありますか。

その他5「保育士等処遇改善臨時特例事業」についてお願いします。

○幼児教育課長

保育士等処遇改善臨時特例事業の実施についてご説明します。

国では、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」において、看護、介護、保育、幼児教育など、新型コロナウイルス感染症への対応と、少子高齢化への対応が重なる最前線において、働く方々の収入を引き上げることとされ、令和3年度一般会計補正予算が成立しています。

当該補正予算においては、保育士、放課後児童支援員等の処遇を改善するための補助金が創設され、実施要綱が発出されました。

茅野市では、この令和3年度保育士等処遇改善臨時特例交付金を活用し、保育士等の処遇改善及び学童クラブ支援員等の処遇改善を図ることとしました。

事業の目的は、上段は重複しますので中段以降からご説明しますが、賃上げ効果が継続される取り組みを行うことを前提として、令和4年2月から収入を3%程度、月額9000円引き上げるための措置を実施することとされています。

対象の1点目に、私立保育園と認定子ども園に勤務する職員、2点目に、公務部門として正規の職員を除く保育所に勤務する保育士及び看護師、学童クラブに勤務する職員が対象となっています。正規職員を除きます。

処遇改善の内容ですが、私立保育園と認定子ども園は、国の補助金交付要綱に基づき算出した額について、補助金で支払います。

市の保育所及び学童クラブでは、対象者の年間収入が3%増加するように、会計年度任用職員任用マニュアルに規定している報酬単価を引き上げることでの対応とします。

実施時期ですが、国で示されたとおり、令和4年2月から処遇改善を実施します。

私立保育園と認定子ども園は、賃金改善計画書、実績報告、交付請求に基づき、補助金として支払います。

予算については、補正ではなく今年度の予算の残額で処理することとしています。

以上です。

○教育長

質問ご意見ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

その他6「市議会第1回臨時会の議決結果について」お願いします。

○こども部長

その他6の資料をご覧ください。令和4年度茅野市議会第1回臨時会の議決結果です。こちらについては、令和4年2月2日に臨時会として開催されたものです。

議案は、第1号から第3号まであり、内容については請負契約になります。市の議案ですが、永明小中学校の件になりますので、内容について若干ご説明します。

議案第1号は、永明小中学校校舎建設工事の主体工事の請負契約について、第2号は、機械設備工事の請負契約について、第3号が電気設備工事の請負契約についてです。

議案第1号の契約方法は、事後審査型の一般競争入札で、契約金額が3,624,500千円です。契約の相手方が茅野市宮川7081番地「カネトモ田村建設特定建設工事共同事業体」です。

議案第2号、機械設備工事の契約方法は、事後審査型一般競争入札で、契約の金額は520,861千円です。契約の相手方が、茅野市仲町17番20「共進エネーブ株式会社」です。

議案第3号は、電気設備工事の請負契約です。契約の方法は、事後審査型一般競争入札で、契約金額が525,800千円です。契約の相手方が塚原2-4-3「南信電気工事平沢電気工事特定建設工事共同企業体」です。

以上3議案が、同日可決をされています。

以上です。

○教育長

質問ご意見ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

その他になにかありますか。

○生涯学習部長

その他の案件として、2点ほどコロナ関係でお願いします。資料はございません。

1点目は、まん延防止等重点措置の適用期間が3月6日まで延長されることになりました。

それに伴い、学校教育施設、子育て施設、生涯学習施設の利用制限等に関しても3月6日まで延長します。

2点目は、御柱祭での山出しの氏子曳航が中止決定されましたが、それに伴う生涯学習施設の現在の考え方と、状況を各課長からご説明します。

○生涯学習課長

中央公民館については、通常開館の予定で調整しています。

図書館については、山出しに係る休館として、1月定例教育委員会でお諮りしましたが、山出しについての休館ではなく、4月2日を起点に13日まで特別整理期間として休館する予定です。

職員はこの間出勤して、特別整理、電話の対応等に当たります。

○文化財課長

博物館、史料館、考古館の関係ですが、山出しの氏子の曳行が中止となってしまいましたので、史料館は4月4日に臨時開館する予定でしたが、現在検討中です。

5月2日と5月6日は通常休館ですが、里曳きの状況を見ながら臨時開館について検討していきます。

以上です。

○スポーツ健康課長

運動公園施設は通常営業を考えています。

○教育長

質問、ご意見ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

急遽変更しましたので、今後細かい点を詰めて参ります。

その他、なにかありますか。

○全委員

なし。

○教育長

事務局お願いします。

○教育総務係長

次回3月の日程をご報告します。

定例教育委員会を3月29日の火曜日、9時半から8階大ホールで行います。

事務局会議を、3月15日の火曜日、9時から602会議室で行います。

以上です。

○教育長

以上で、2月定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第19条第2項の規定によりここに署名する。

令和4年3月29日

茅野市教育委員会

教育長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こども部長